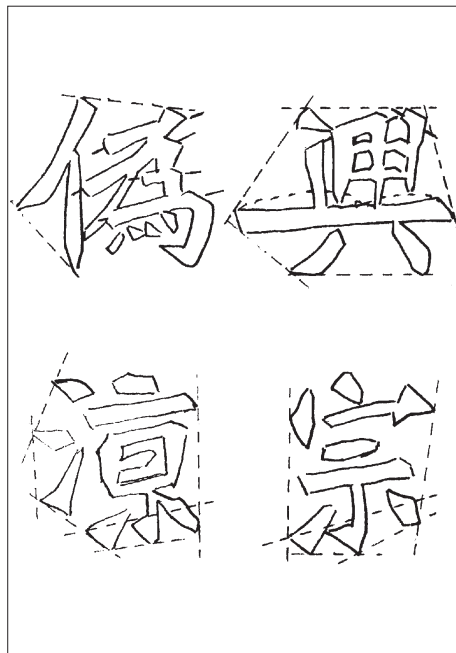


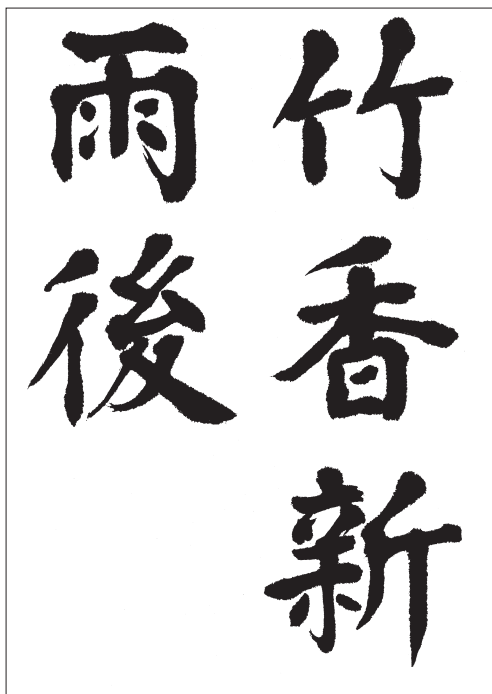
◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料430円



張猛龍碑 (北魏)

- 1、字句 興宗偽涼
- 2、形式 半紙タテ使用。右に「興宗」、左に「偽涼」と二行に臨書し、余白に落款「○○臨」と調和を工夫し書き入れる。
- 3、概観 「張猛龍碑」の特徴のひとつに転折があります。一般的には、一旦筆を止め、押さえ、そのまま下方に連筆しますが、「張猛龍碑」の転折は同様ではない。「宗」や「守」などの冠における転折は、横画から一旦筆を持ち上げ、右下に押さえ三角形にするものです。しかし、「口」や「日」にみえる転折では、軽く押さえ筆を引き上げながら縦画を書きまします。また、「軍」にみる「日」の部分では、冠と同じように押さえ、しっかり筆を突き弾力を使って鋒先に引き上げるなど多彩な転折がみられます。
- 4、各字のポイント
 - 興 一画目の点は右下に向けて、四画目の横画は右肩上がり、七画目は右下がり。他の横画との方向の違いを確認。十画目の横画は左側が長い。
 - 宗 一画目の点は右下に向かって三角形に。二画目も三角形。三画目の転折は概観のように。「示」の二点の位置関係をよく観察したい。
 - 偽 「一」直線的に背を高く。傍の転折は強く押したようには見えない。
 - 涼 三ズイは傍に比べて上部に。「京」の「口」は「日」となっているが、古典ではこの方が多い。傍の点の位置は「宗」に同じ。

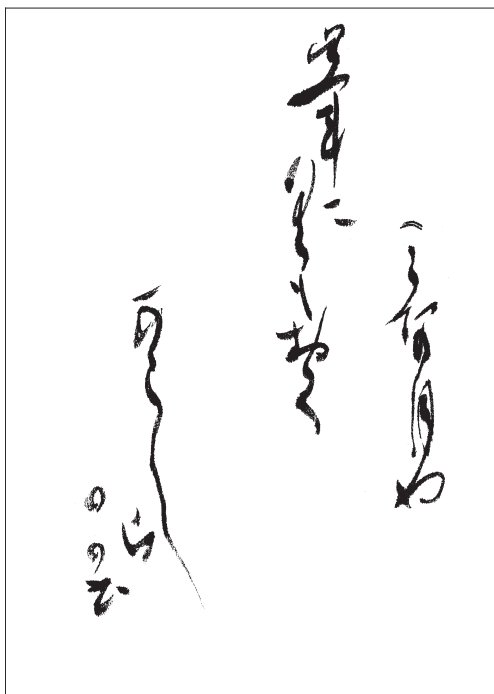
半紙課題(予告) (六月二十二日締切)



平岡華雪先生書 竹は香し新雨の後。(張籍)

訳：新たに降った雨があがって竹はかんばしい。

平岡華雪先生書 みなつきや峯に雲置くあらし山(芭蕉)



研究部総覧

高橋 香樹

平成二十六年年度研究部総合成績が発表になりました。研究部は、漢字・かな五課題ずつで幅広く学ぶことができるようになっていきます。皆出品者は三十五名。一回でも不出品の月があれば受賞は難しくなりますが、今回は二回不出品の方が一人、部門賞でも一回不出品の方が一人、皆出品であれば受賞候補者になれたのではと思われた方がいました。

大賞の稲畑穂穂さんは、昨年に続く受賞です。特に本年度は八十点越えの成績を修めました。三年連続大賞は過去に星野煌雪さん一人だけです。二十七年年度も大賞を受賞し、三年連続の受賞で研究部卒業（大賞、準大賞を三回受賞すると、後進に譲ることになっています）といきたいものです。同じく大賞と漢字部門賞の田中胡秋さんは、昨年の漢字部門賞に続いての受賞。着実に力を伸ばしています。かなにも磨きをかけ連続

受賞といきたいもの。同じく大賞の町田煌月さんは、二十四年の大賞に続き二度目の受賞。二十七年度も連続受賞で花道を飾りたいもの。準大賞の新堀初美さんは、過去には書誌に出品されていましたが、先生が他界され暫く休止した後、二十四年から再開されました。今回見事に受賞。今後の活躍が期待されます。同じく準大賞の小森谷爽風さんも一時期休まれていましたが、二十二年に再開、二十四年秋季昇級試験の漢字部推薦合格と近年進境著しい。かな部門賞の柴山紫香さんは、すでに三部門共推薦合格されており実力は実証済み。研究部でも大いに実力を発揮して戴きたいと思えます。

昨年より出品資格者を推薦格以上としましたが、推薦格の出品者が少ないようです。是非チャレンジして下さい。

（成績発表は13ページからです。）

研究部課題

（五月二十二日締切）

（課題）

豊

▽注意

(1) 半紙タテ・ヨコ自由。

(2) 書体自由。

(3) 落款は「虚斎書」と書き入れること。

雅印は無用。（出品者の本名又は雅号を入れた作品は失格）

▽出品要項

(1) 資格—推薦、準推薦、推薦格合格者

（漢字・随意・かなのいずれかで推薦格以上であればよい。同人、準同人も歓迎）

(2) 締切—五月二十二日必着

(3) 発表—書誌七月号誌上

(4) 出品料—九二〇円同封

(5) 出品方法

ア、出品は一人一点とする。

イ、私製の出品票（タテ10センチ×ヨコ5センチ）を作品の左下にぶら下げて貼付する。

| | |
|-----------------|-------|
| のりしろ | |
| 研究部 | |
| 5月22日締切 | |
| フリガナ (姓名(号)) | (支部名) |
| 10センチ | |
| 5センチ | |

※出品票は必ず楷書で正しく、ハッキリと記入すること。

※名簿作成の都合上、姓名(号)にはフリガナをつけて下さい。

※バーコード券は不要。

張猛龍碑



建節將軍饒河黃河二郡太守。父生

条幅臨書部は半紙臨書部と連動しています。半紙に取り組んだ方は是非条幅にもチャレンジしてください。また条幅だけ出品も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「○○臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五四〇円。

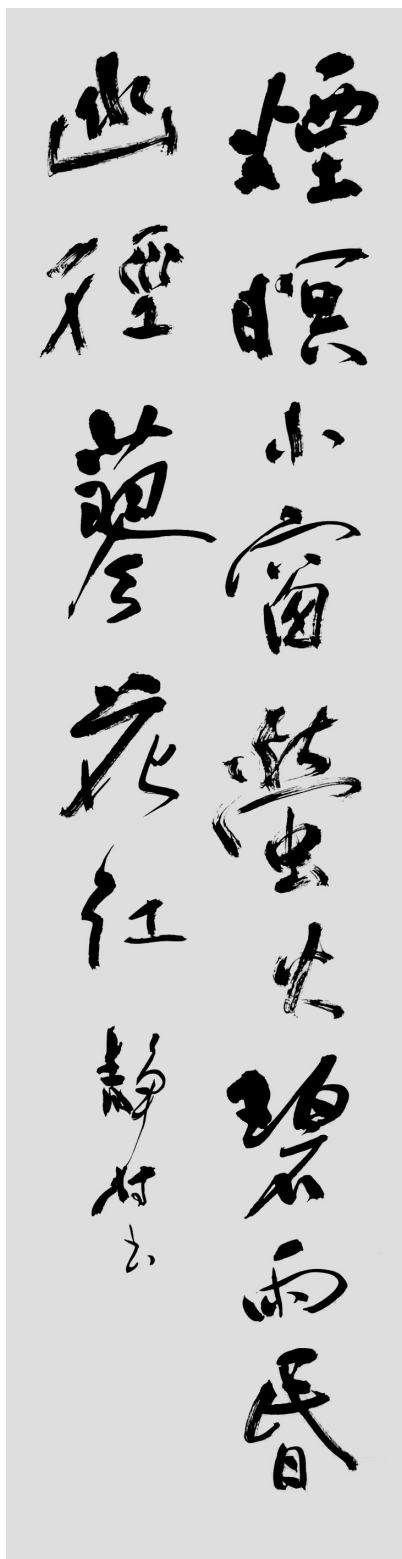


◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A

鈴木静村書

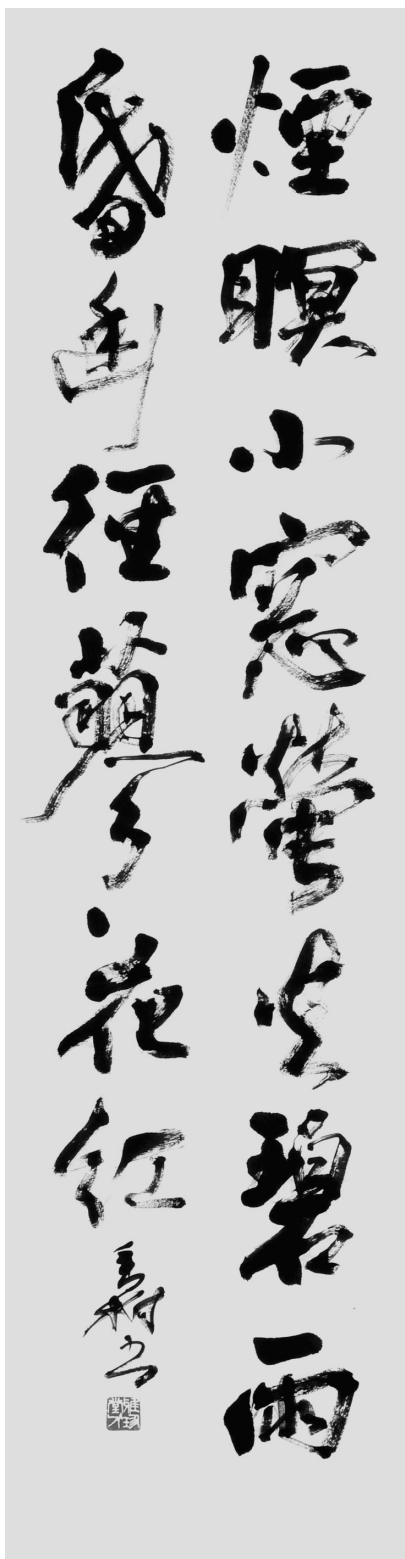
煙暝小窓螢火碧 雨昏幽徑蓼花紅 (王禹偁)
 煙暝くして小窓螢火碧に、雨昏くして幽徑蓼花紅なり。



B

高橋香樹主幹書

筆を換えて線の多様化を——この筆はイタチ毛。普通の兼毫に比べると一段の堅さ、見かけは細身ながらも、使ってみると直線味の勁い線を表出できます。線のマンネリを打破する手法の一つは筆を換えてみる事です。各種の筆を使いこなすことも「力」に直結することです。煙暝 隣のうねり、窓螢 共に冠は大きく。碧で墨継ぎ、上部に字幅。昏 古典で民の例が多い。幽 右行の火偏の傾きに対応させた傾き。蓼 墨継ぎ。



今回は行書中心にした単体の作としました。「煙」は「烟」でも可。火偏の三画目を細線にして変化をつけました。字典参照を。単体だが次字への意識は常にもって書きたい。上下動の運筆を心懸け、潤濁の表出にも意を注ぎたい。墨継ぎは「碧」と「徑」。

訳：うす暗い小窓に螢の光がみどり色に輝き、雨が降る小道にたでの花が紅色に咲いている。

予告 (六月二十二日締切)

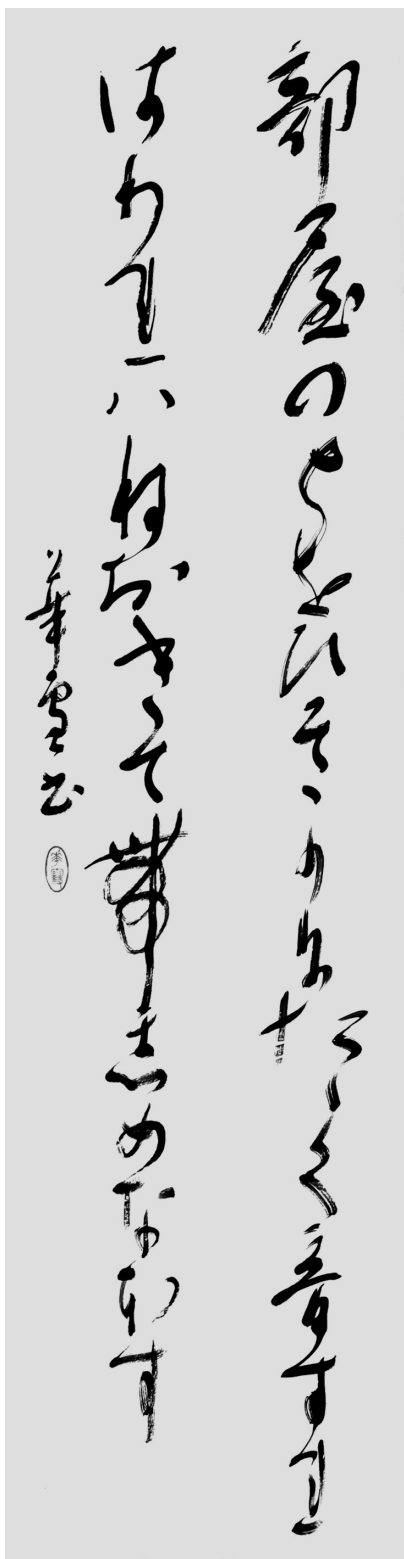
春風得意馬蹄疾 一日看盡長安花 (孟郊)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

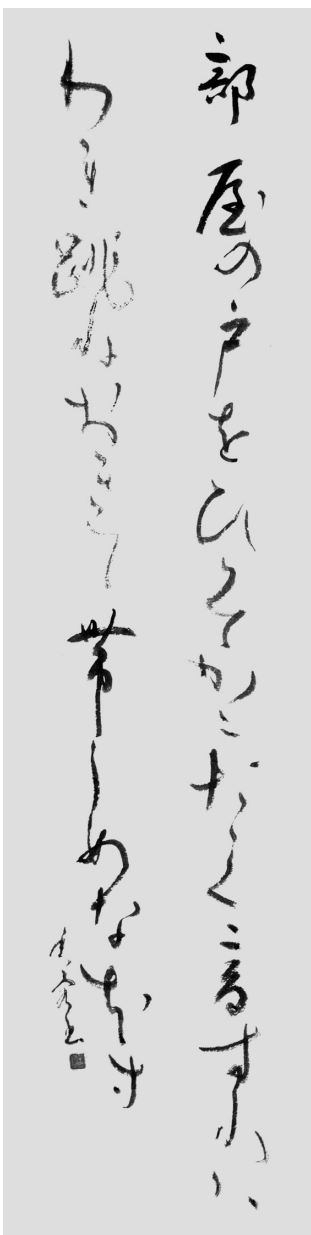
部屋の戸をひそかに叩く音すればわれ跳ね起きて帯しめなほす (川田順)
部屋のとをひそ可^か爾^にた、久^く音^す連^はわ連^は八^はねおきて帯志^しめな本^はす



B

川上香蓉先生書

部屋の戸をひそか二^にた、久^く音^すれ八^は連^れ跳^ねおきて帯しめな本^はす



学び方

今回は明治生まれの作者の歌なので、極力変体かなを使わないように考慮しました。初めに漢字が続くので「部」と「屋」を離して書き、うるさくならないようにし、「ひそかにたたく音すれば」は単調にならないように仮名に大小をつけ「音」にポイントを置きました。二行目の「われ跳ね」の「・」の三文字は、同じ様な字形になりそうなので「れ」で変体かなを使用し、字幅に大小をつけました。終句の「帯しめなほす」は「帯」がポイントになるとありますが「しめなほす」と原作のままだと何か物足りない感じがするので、「ほ」で変体かなを使用してアクセントを持って来ました。普段は変体かなを多用しているのでそれを使わないで書くのは苦労しましたが、その時代の歌によってやはり変体かなを使用しない方が情景が伝わるように思います。

予告 (六月二十二日締切)

夏の日はなつかしきかなこころよく梔子の花の汗もちてちる (北原白秋)

川田順 (明15〜昭41)

東京浅草の生まれ。父親は漢学者で、本人は帝大法学部を卒業し、住友本社に入社、常務理事をもって昭和十一年退社。佐々木信綱に師事「心の華」に同人として参加。小山内薫らと同人雑誌「七人」を創刊。また白秋らと「日光」を創刊。大正七年第一歌集「伎藝天」を刊行。浪漫性の強い作品から窪田空穂と相識り写真的な格調高い作品を生む。

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

外川霞夕先生書

逢花當路皆成笑 走馬看山盡入詩（鈕汝騏）
 花に逢い路に當り皆笑を成し、馬を走せ山を看尽く詩に入る。

逢花當路皆成笑
 走馬看山盡入詩

鈕汝騏

訳：路で花にであえば誰もかも皆あい笑い、山を見るに馬を走らせれば何もかも詩に入る。

北島菁丘先生書

初夏の真昼の野辺の青草にそのかげおとし立てる櫛の木（木下利玄）
 初夏の万日流農、邊能あを久さ耳曾農可希おとし多てる櫛のき

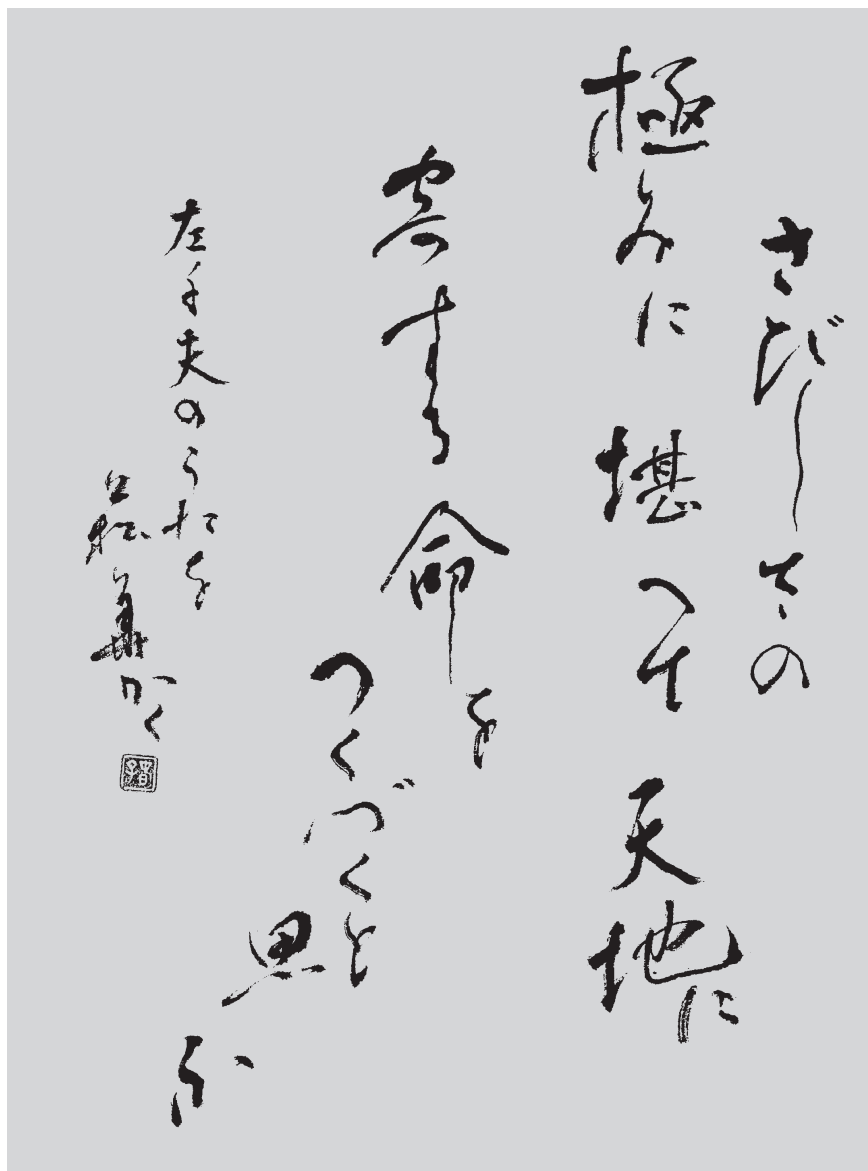
初夏の
 真昼の
 野辺の
 青草に
 その
 かげお
 とし
 立てる
 櫛の
 木

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

小暮 菘華 書

○用筆が自然に生み出す「自然体」で書いています。
○筆をとる際の気分を大切に、大らかに素直に筆を動かしてみましよう。

さびしさの極みに堪へて天地に
寄する命をつくづくと思ふ



伊藤左千夫 (1864—1913)
歌人・小説家
明治法律学校 (明治
大学中退)
アララギ派歌人。正
岡子規に師事。
子規の没後、短歌雜
誌「アララギ」の中
心となって、齊藤茂
吉、土屋文明などを
育成した。
代表作「野菊の墓」・
「隣の家」

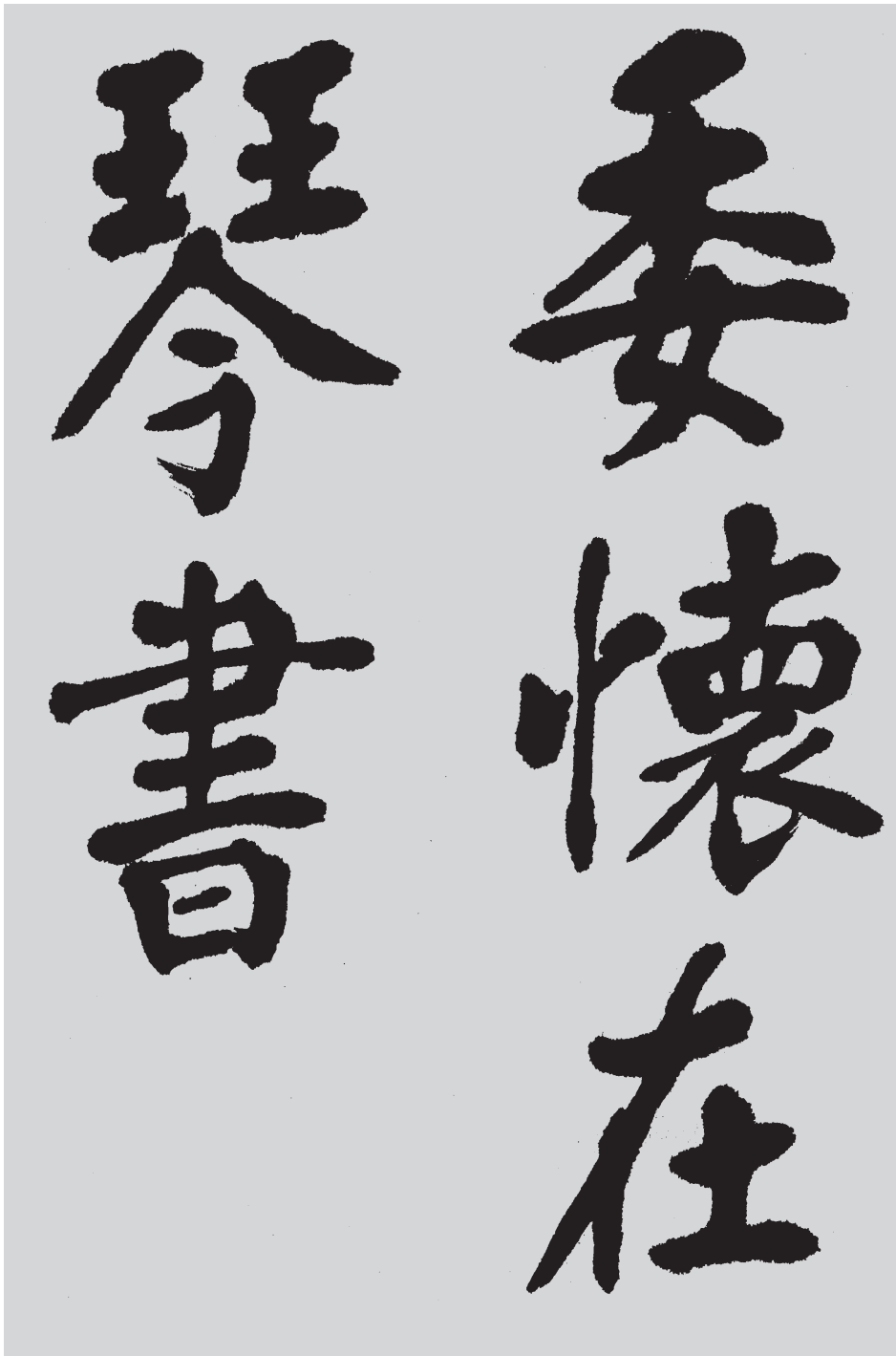
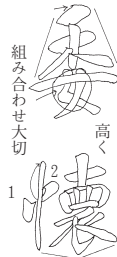
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位) に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

懷を委す琴書に在り(陶淵明)
訳：自分の心を打ちまかすのは琴と書物で或は弾じ
或は読みて楽しむ。

〈形のポイント〉
「委」の「女」、この画の組み合わせが要点、こ
れで失敗するとこの字は崩れる。「懷」の「衣」は
第一画の点は省くことが古典にも多い。形がとりや
すい。

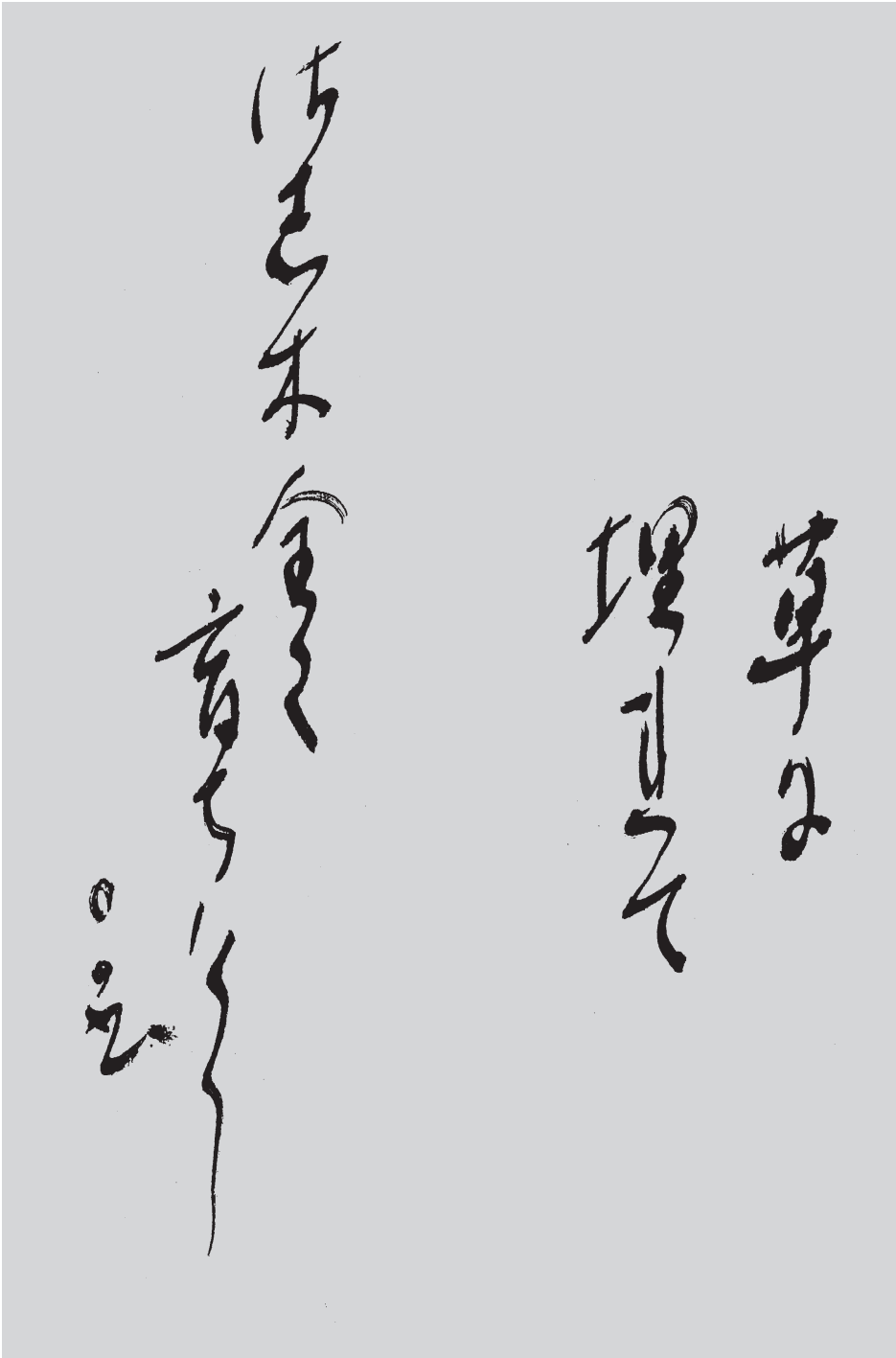


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

草に埋れて挿木全く育ちけり (泊雲)
草^に埋^れて挿^木全^く育^ちけ^り
草^尔埋^連て佐^志木^全久^く育^ち介^り



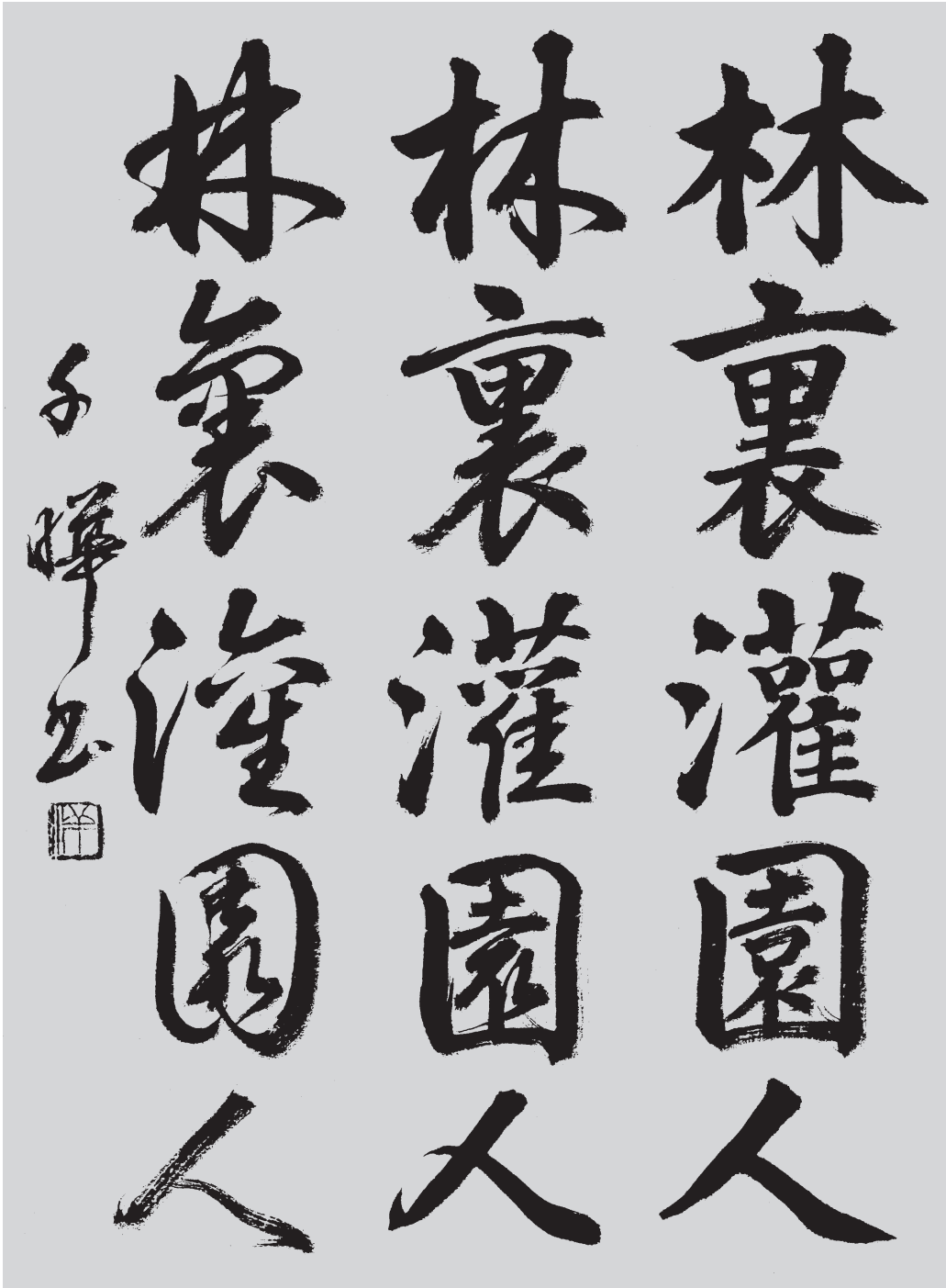
〈強く弾き返す用筆「太さを」〉
連綿手法で右上から左下への場合、逆入で受けて、さらに右方へと送筆する際、弾き返す用筆になり、強く、太さを増してきます。
例として、「草」のよこ画、「ち」の末画、「て」の一画、「志」の一画、「木」の一画、「ち」の一画目で、前からの連綿を強く受けています。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

路川千曄先生書

林裏灌園人（王維）
りんりかんえんひと
林裏灌園の人。



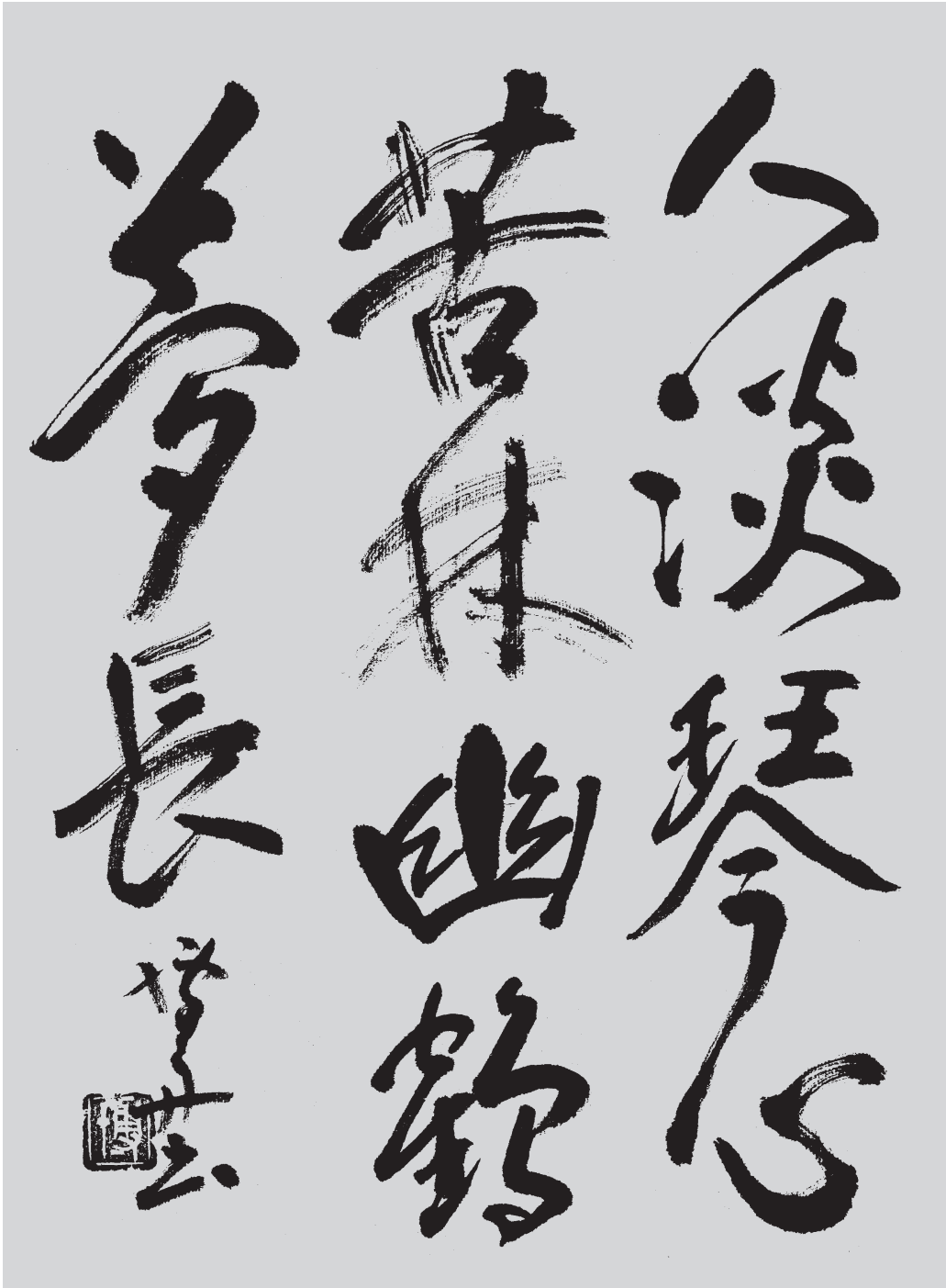
訳：山中の隠士である。林裏（林の中）を樹下又は花下に作れるもある。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

北 沢 博 舟 先 生 書

人淡琴心苦 林幽鶴夢長（金涓）
人淡ひとたんに琴心きんしん苦え、林幽りんゆうに鶴夢かくむ長し。

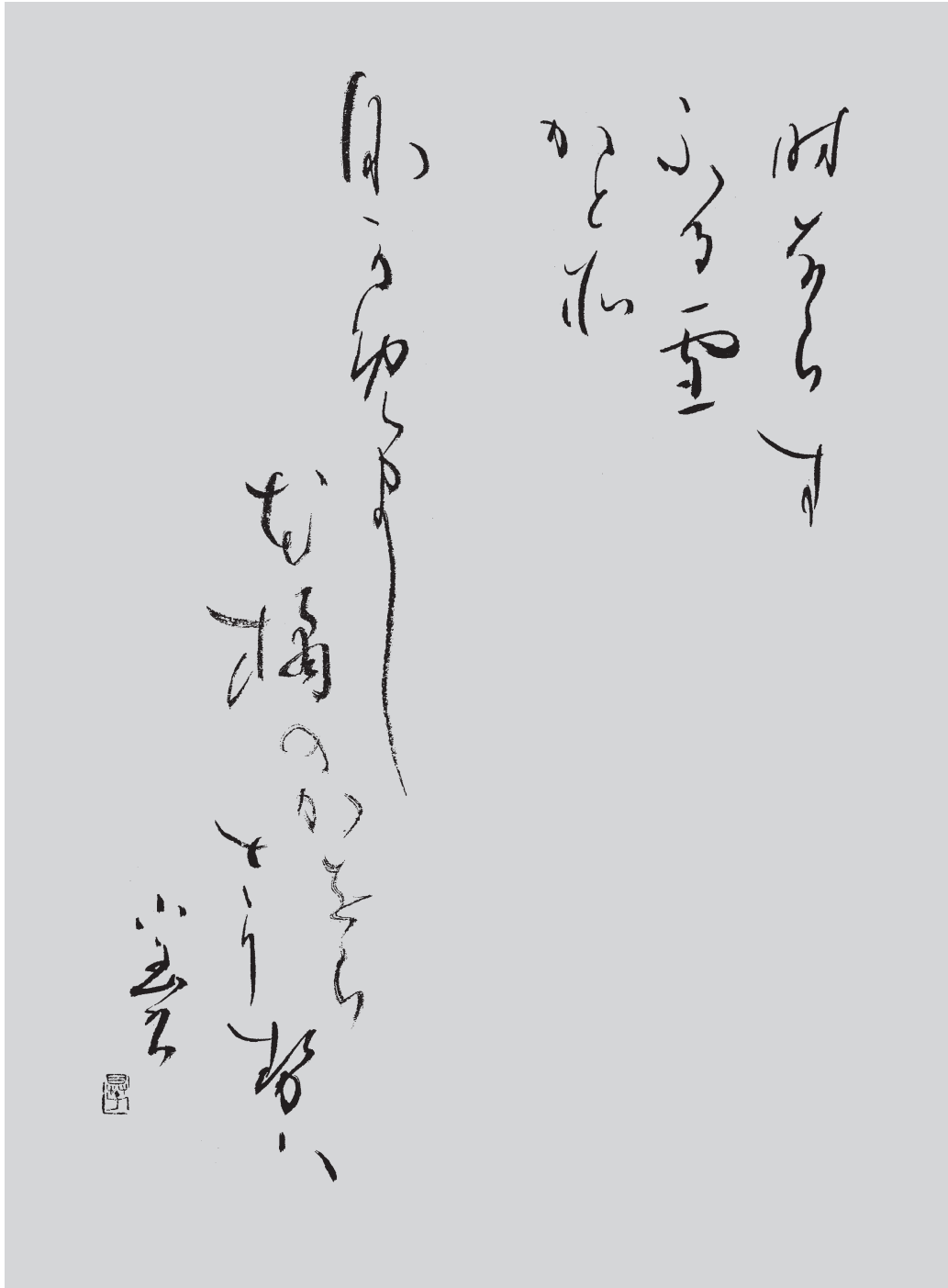


訳：人は淡泊であるから琴心はいかにもさえ、林はおくぶかくて鶴の夢はさめることが遅い。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

高山小玉先生書



時ならずふる雪かどぞながめまし花橘のかをらざりせば（更級日記 菅原孝標女）
時奈らすふる雪かと所那可免末し花橘のかをらざり勢八

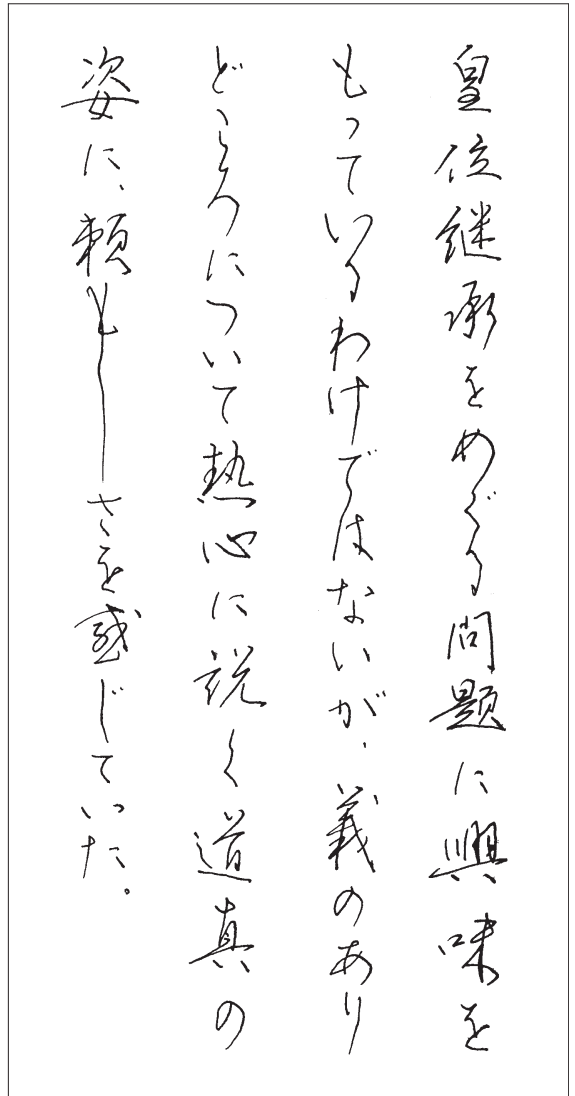
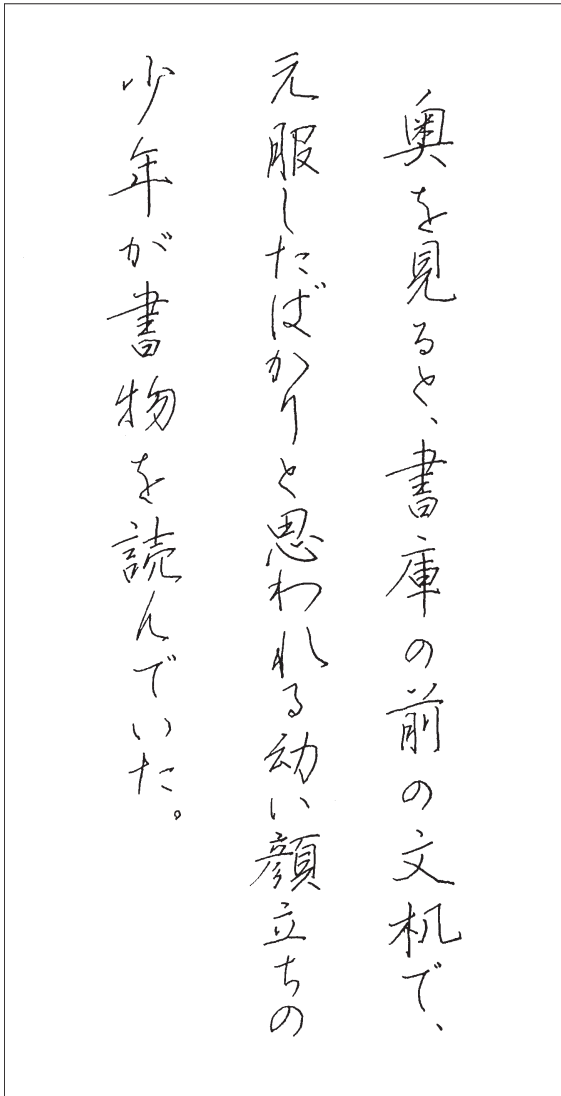
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



正教授 創作部門 (自運作品、自由形式、硬筆用紙使用) で出品。審査料一、〇〇〇円

課題1 (初段階以上)

皇位継承をめぐる問題に興味をもっているわけではないが、義のありどころについて熱心に説く道真の姿に、頼もしさを感じていった。

「菅原道真 見果てぬ夢」

三田誠広

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン (黒色) を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入 (色は黒) はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円
- (6) 昇試規定は裏表紙を参照の事。

課題2 (初段階以下)

奥を見ると、書庫の前の文机で、元服したばかりと思われる幼い顔立ちの少年が書物を読んでいた。

「菅原道真 見果てぬ夢」

三田誠広